

平成29年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	医療現場におけるUDI利活用推進事業費			担当部局庁	医薬・生活衛生局		作成責任者		
事業開始年度	平成30年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	医薬安全対策課		課長 佐藤 大作		
会計区分	一般会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	「未来投資戦略2017」(平成29年6月9日閣議決定)、平成29年3月28日医政経発第0328001号、平成28年8月30日医政経発0830第1号、薬生安発0830第1号、薬生監麻発0830第1号				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療機関におけるUDI(Unique Device Identification:医療機器を特定し、識別を行うための仕組み)の利用を推進していくため、実際にUDIシステムを導入するにあたっての課題を明確にするとともに、UDIシステムの導入により医療現場にとってどのような効果があるのか具体的な検証を行う。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	(1)医療機関に対してUDIシステムの導入に関するアンケート調査を実施するとともに、UDIシステムの導入を阻害している原因を明らかにし、その対応策について検討するための検討会を開催する。 (2)医療現場におけるUDIの有効的利活用推進のため、モデル病院(数力所)において、病院内での物流・在庫管理の最適化、医療安全の向上、医療事務の効率化等の観点から、GS1コードの病院内システムへの導入の効果について具体的に検証する。								
実施方法	直接実施、委託・請負								
予算額・執行額(単位:百万円)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	-	0	15		
		補正予算	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
	計		0	0	0	0	15		
	執行額		0	0	0				
執行率(%)		-	-	-					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		-	-	-					
平成29・30年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	医薬品安全性評価事業委託費	-	8						
	医薬品審査等業務庁費	-	5						
	委員等旅費	-	1						
	諸謝金	-	1						
	職員旅費	-	0						
	計	0	15						
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 -年度	目標最終年度 30年度
	医療現場におけるUDIの有効的利活用推進のため、モデル病院においてUDIシステム導入の効果について運用事例を収集する。	モデル事業によるUDI導入・運用事例の報告件数(=交付決定件数)	成果実績	件	-	-	-	-	-
		目標値	件	-	-	-	-	2	
		達成度	%	-	-	-	-	-	
根拠として用いた統計・データ名(出典)	モデル事業によるUDI導入・運用事例の報告件数								
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	30年度活動見込	
	医療機関に対するUDIシステム導入検討会の開催数	活動実績	回	-	-	-	-	-	
当初見込み		回	-	-	-	-	4		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
	単体当たりコスト=X/Y X=医療機関に対するUDIシステム導入検討対策費 Y=検討会の開催回数	単位当たりコスト	千円	-	-	-	-		
		計算式	X/Y	-	-	-	-		

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	品質・有効性・安全性の高い医薬品・医療機器・再生医療等製品を国民が適切に利用できるようにすること(I-6)										
	施策	医薬品等の品質確保の徹底を図るとともに、医薬品等の安全対策等を推進すること(I-6-2)										
	測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度			
			実績値	-	-	-	-	-	-			
			目標値	-	-	-	-	-	-			
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
	本事業は施策として30年度より医薬品等の安全対策等を推進するが、測定指標については設定しない。											
	経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野:	-								
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
				成果実績	-	-	-	-	-	-		
			目標値	-	-	-	-	-	-			
		達成度	%	-	-	-	-	-				
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度			
			成果実績	-	-	-	-	-	-			
			目標値	-	-	-	-	-	-			
		達成度	%	-	-	-	-	-				
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係												
-												
事業所管部局による点検・改善												
国費投入の必要性	項目			評価	評価に関する説明							
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	医療事故防止等の医療安全の向上を図るものであるため、民や社会のニーズは高い。							
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	医療機器等の流通の効率化・高度化、トレーサビリティの確保、医療事故の防止、医療事務の効率化等が期待されており、国が実施すべき事業である。							
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	IMDRF(国際医療機器規制当局フォーラム)においてUDIのガイダンスが策定されているほか、欧米ではUDIに関する法規制がなされており、国際整合を図る上でも優先度が高い事業である。							
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			-								
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			無								
	競争性のない随意契約となったものはないか。			無								
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-								
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			-								
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-								
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			-								
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-									
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-									
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			-									
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。			-								
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			-								
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			-								
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			-								
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-								
	所管府省名	事業番号	事業名									
	-	-										
点検・改善結果	点検結果	-										
	改善の方向性	-										

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。

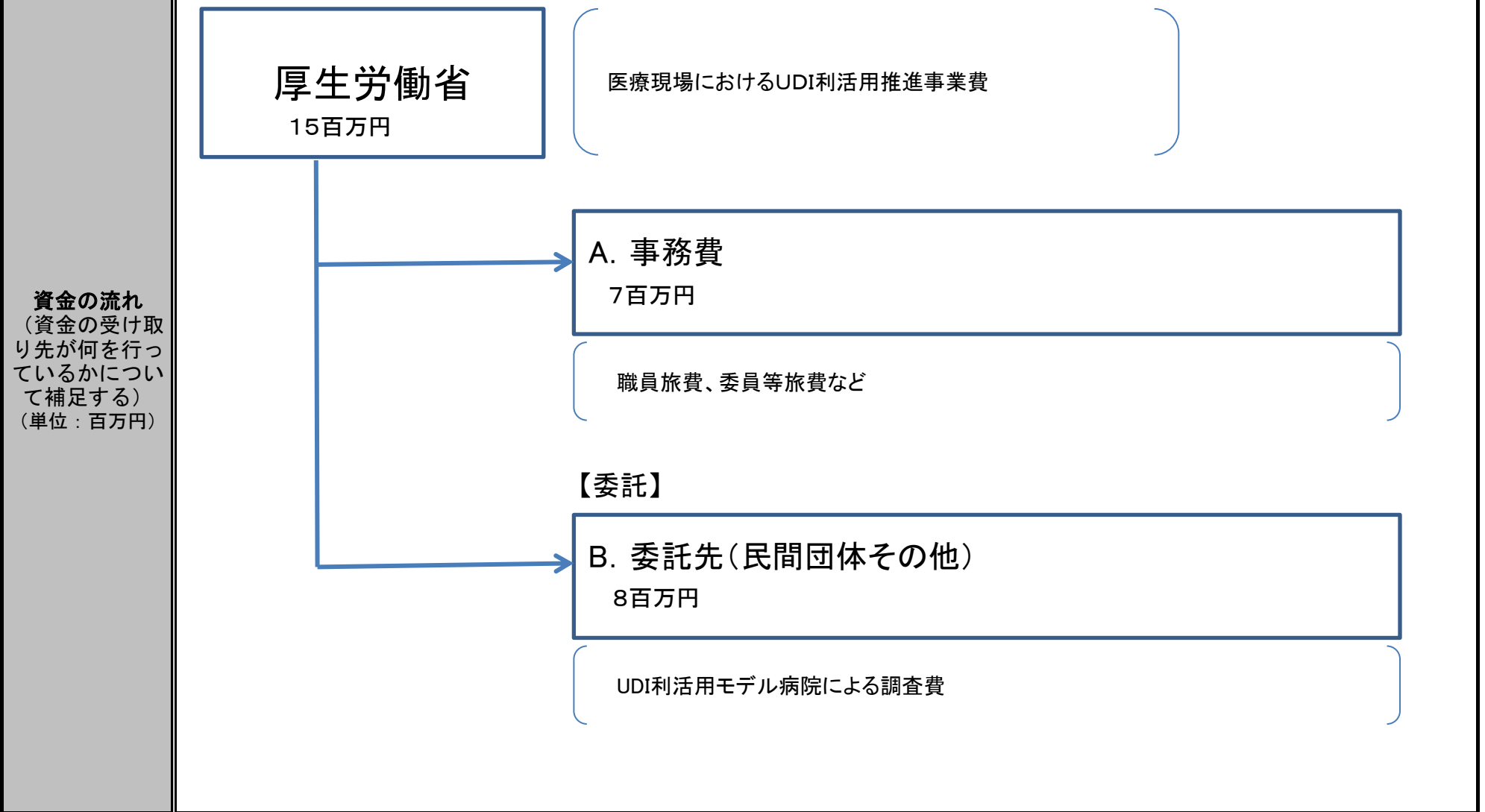
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-	
平成28年度	-					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



費目	A.		金額 (百万円)	費目	B.		金額 (百万円)
	用途				用途		
計			0	計			0

費目・用途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

